

# NBRC の人材育成

村松由貴

独立行政法人製品評価技術基盤機構・NBRC 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-5-8

## Human resource development in NBRC

Yuki Muramatsu

NITE Biological Resource Center (NBRC), 2-5-8, Kazusakamatari, Kisarazu, Chiba 292-0818, Japan

### 1. コレクション紹介

経済産業省管轄の独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) は、財団法人発酵研究所 (IFO) において収集・保存されてきた微生物約 15,000 株を継承する形で、Biological Resource Center, NITE (NBRC) を開設した (波多野, 2017)。NBRC は、2002 年 5 月の開設当時、糸状菌、酵母、細菌、放線菌、古細菌、ファージを保存していたが、その後、微細藻類が追加され、2018 年 3 月末時点では NBRC 株として約 32,000 株を保存している。NBRC 株は、主に国内外の研究者から寄託された微生物を含み、公定法に使用される検定用、基準株等の参照用および教材用等に使用されている。NBRC 株のほかに、国内から分離された株 (国内株) および海外合同探索事業で日本に移転された株 (海外株) を含む RD 株を、主にスクリーニング用として分譲している。

NBRC の菌株担当者は、微生物の分類群に沿って分けられている。2018 年 6 月現在、菌株担当者は、原核チーム 5 名 (古細菌、放線菌、DNA とファージ、低 G+C グラム陽性細菌、グラム陰性細菌)、真核チーム 4 名 (糸状菌 (ツボカビ、接合菌、担子菌、子囊菌 Eurotiomycetes 以外、卵菌、ラビリンチュラ等)、糸状菌 (子囊菌 Eurotiomycetes)、藻類、酵母) の合計 9 名から構成されている。

### 2. コレクションにおける人材育成に関する課題

NBRC における人材育成に関する課題の一つとしては、人事異動が挙げられる。その特徴は次のようなものである。(1) 2002 年の開設以降、約 10 年は公務員試験を受けて NITE へ入所した若手職員を含む数名を原核・真核等の分類群に割り振り、IFO から NBRC に移動した研究者が継続して 5~10 年ほど技術移転を行ってきた。(2) ここ数年、NITE の人事異動の方針として、5 年以上同じ部署にいと別の部署へ異動させられるようになってきた。技術移転をする側、される側双方に異動があり、異動のスペンが 3~5 年程度と短くなってきている。(3) 異動先は、バイオテクノロジー分野に限らない。技術移転を受けた人が、NBRC へ戻ってくる保証もない。また、NBRC へ戻ってきたとしてもブランクの期間によっては、再度技術移転が必要となる場合もある。これらの特徴を踏まえ、今後は、数年単位で部署を異動してしまうことを想定した技術継承を行う必要があると感じているが、良い解決策はまだ見いだせていない。

### 文 献

波多野和徳 2017. 発酵研究所の歴史 (5) 微生物株保存事業から研究助成事業への転換—その激動の 2 年間 (2001.4~2003.3)—. IFO Research Commun. 31: 1-12.